



2024 課題研究



本校では、3年生になると課題研究という授業の中で、生徒自らがテーマを設定し校内外で研究・取組・活動を行っています。その一部を紹介します。

観光ガイド

注目!

北陸新幹線敦賀延伸を受け、さらに石川県を訪れる観光客増加が見込まれる中、現在の金沢集中の状況から観光客を石川県全体に分散させることを目的とし、能登、加賀地区で学生ガイドプログラム開発を始めました。本校生徒たちは同年代という強みを活かし、高校生の目線から小松市の魅力を伝えることに力を入れ、いろいろな仕掛けや動きかけを考えています。
石川県観光戦略推進部誘客戦略課および株式会社日本旅行さんの協力を得ながら、昨年度から引き継ぎ、改善を加えながらプログラムを県外へ周知し来年度の修学旅行受け入れを目指しています。

◆これまでの主な活動◆

- 4月～6月 観光地（安宅の関）について調べ学習ガイドルート・原稿の見直し
- 7月 観光地の下見、第1回リハーサル
- 8月 直前リハーサル、ガイドツアー
石川県知事より「いしかわ高校観光特使」に任命される。（8月6日（火））
- ※石川高校観光特使とは→石川の観光資源を全国に発信することに努める高校生に任命され、県内77の観光施設を無料で利用でき、観光の専門性を磨くことに活かすことができる。
- 9月 玉野光南高校とリモート交流

◆今後の予定◆

- 10月 いしかわ産業教育フェアの体験ブースにてバーチャル観光を実施
- 11月 金沢商業高校の生徒に対しガイドツアー
- 1月 本校2年生にガイドツアー実施、引継ぎ



実際に観光地に出向いてのリハーサルの様子



任命式に参加して、知事さんと写真撮影！



令和6年9月5日（木）

交流先：岡山県立玉野光南高等学校
2年生 5名

概要：文化祭で「小松の塩焼きそば」を作る玉野光南高校の生徒に対して、レシビや石川の方言についてアドバイスをしました。アドバイス以外にも互いの地域の食文化（家庭での料理や給食のメニュー）の違いなどの話題で盛り上がりました。文化祭は大成りに終わったそうですよ(๑)



リモート交流

令和6年8月22日（木）

場所：安宅住吉神社、安宅の関跡
ガイド受講者：関東圏の旅行会社社員15名

目的：関東圏の旅行会社へ小松市学生ガイドプログラムを周知、体験してもらうことで、来年度以降の修学旅行先選択に向け各地域でプロモーションしてもらう。
反省：原稿以外の知識不足（質問に答えられない場面があった）



ガイドツアー

生徒は緊張しつつも楽しみながらガイドすることができた！移動中の時間に方言クイズなども行いながら雰囲気作りも心がけていました(๑) 大成功!!



ふるさと小松検定

～地元の魅力を再発見！～

ふるさと小松の「理解」を深めるとともに、より多くの皆さんに小松の「魅力」を伝えることを目的としており今年で19年目となりました。今年は、

11月17日（日）小松市の第一コミュニティセンターにて小松検定を実施します！本校の生徒たちが検定の企画・実施をはじめ、運営に関わることで企画力・発想力が身につくと考えています。



小松市長さんに検定を紹介（奥数訪問）



テレビ小松にてCM撮影の様子



ラジオ小松にて収録の様子



天然資源を有効活用

学校の中庭の天然資源（土壌、植物など）を有効活用して価値を見出す！をコンセプトに活動しています。作物を育て、子ども食堂など必要としている方々に届けたい！と思っています。中庭という環境で作物を育てることはできるのか？土や日照時間などの条件を変えながら実験を行っています！



教育ウィークにあわせて本校では、11月1日（金）にポスターセッション方式で中間報告会を実施します！また、年が明けて1月下旬には「校内課題研究発表会」が行われ優秀な取り組みについては、2月14日（金）に行われる「石川県商業生徒発表会」に出場します。

↓上記の他にも様々なテーマについて研究しています↓

2025年問題&18歳からの資産運用

2025年問題において最大の課題点として挙げられている、「労働力人口不足」の現状を理解することを目標、就職・進学後に私たちができる「資産運用」の観点から対策を身につける。

動画編集スキルを身につける

PRしたいテーマを検討・研究し、写真や映像の編集・操作方法を習得するとともにマルチメディアの活用および表現する力を養い、将来に生かせるようにする。

持続可能な開発目標について学ぶ

SDGsについて学び、自らが実現可能な計画を立て実行し周囲に発信する。ことも食堂ボランティアへの参加も積極的におこなう。

消費者センスを高めよう

これからの社会を担う若者、高校生世代自らが様々な事例や知識を学び、消費者被害・事故に遭わない賢い消費者に成長する。

北陸新幹線延伸による経済効果

新幹線の効果を調査し現状を理解する力を身につける。

商品開発

小松市の現状と課題を学び、具体的な解決策を企画・提案できる力を身につけます。藍染商品の開発を通して小松市へ観光客を呼び込むなど地域活性化に尽力する。



小松の活性化

小松市の活性化のためにできることを考え企画を提案し実践する力を身につける。マルフジさんとの商品開発を通して、観光客や地元の人のニーズをつかみ、行動する力を身につける。

KOMATSU魅力発見プロジェクト

（高校生の視点から取り組む地域活性化）

地域に関するデータからまちづくりを考えることにより、企画力・実践力を養う。また、自身の住んでいる地域にも関心に向け郷土愛を育む。